

# 平成30年度射水市障がい者総合支援協議会 次第

と き：平成30年7月3日(火)午後1時30分～

ところ：射水市役所本庁舎 302階会議室

1 開 会

2 部長あいさつ

3 委嘱状交付

4 委員紹介

5 会長及び副会長の選出

6 会長あいさつ

7 議 題

(1) 平成29年度地域活動支援センター及び相談支援事業実施報告 資料 1

(2) 平成29年度障がい者総合支援協議会 専門部会報告 資料 2

(3) 平成30年度地域活動支援センター及び相談支援事業計画 資料 3

(4) 第4期射水市障害福祉計画進捗状況報告（平成29年度分） 資料 4

(5) その他

## 平成29年度射水市障がい者地域活動支援センター実績報告

委託先	射水福祉会あいネットいみず	類型	地域活動支援センターI型
標準利用人員	20人/日	委託金額	12,000千円

## 1 事業総括

## 平成29年度目標

## (基礎的事業)

- ・相談員の資質（面談技術の向上及び社会資源の活用・調整力）の向上
- ・利用者ニーズに即した創作的活動、生産活動と地域支援プログラムメニューの工夫・充実

## (I型事業)

- ・ボランティア団体の活用の工夫と市民に対するボランティア参加の呼びかけの強化
- ・民生児童委員、障害者相談員や各種関係機関との連携の強化のための取り組みの実践

事業内容	成果
基礎的事業 (1) 相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービス利用に関する相談、障害や病状の理解に関する相談、服薬・健康管理等の相談を受けた。傾聴の姿勢で十分に話を聞き、的確なニーズ把握を行い、病院や包括支援センター等と連携を図りながら対応した。744件の相談のうち、370件は福祉サービスの利用計画作成を行った。</li> <li>・障害者本人及び家族の心の拠り所としての役割を担った。</li> <li>・相談内容別では、福祉サービスに関するものが597件と最も多く、全体の約8割を占めている。</li> <li>・障害別では、知的障害者からの相談が504件と最も多く、次いで身体障害者129件となっている。</li> </ul>
(2) 創作的活動及び生産活動の機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズに即した創作的活動、生産活動の展開とメニューの工夫・充実を図り、壁飾りやちぎり絵、絵手紙など季節や年間の行事を考慮しながら制作等に取り組んだ。</li> <li>・地域活動支援センターでは、利用者同士が気軽に話し合える雰囲気づくりに努め、年間延べ1,212名が創作的活動や生産活動、憩いの場に参加している。</li> <li>・創作的活動の主なものとしては、昼食・お菓子づくり、手芸、ペーパークラフト、描画等を実施し、延べ573名が参加した。生産活動の主なものとしては、新聞ちらしで作るゴミ箱づくり、案内文書折り等を実施し、延べ46名が参加した。また、余暇支援活動として、カラオケ&amp;ココス、新年の集い等を延べ11回企画し、593名が参加している。</li> </ul>
(3) 社会との交流促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中学校とともに「ケーキづくり」の交流活動を企画し、利用者が中学生とケーキづくりや音楽活動に取り組み、交流を図った。</li> <li>・広報誌や納涼祭・苑祭の案内を利用者とともに地域に配付し、参加を呼びかけた。</li> </ul>
I型事業（機能強化事業） (1) 医療、福祉及び地域の社会基盤との連携強化及び調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間166回のサービス調整会議を通し、医療・福祉並びに地域の関係機関等との連携を図った。</li> <li>・特別支援学校を卒業する生徒に対し、適切な進路への移行が円滑に進むよう保護者、教師、事業所等による移行支援会議を開催した。</li> </ul>
(2) 地域住民ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中学校の調理室を使用して、ボランティア交流会を開催し、料理や歌などの活動を行った。中学生の障害者に対するボランティア意識が高まった。</li> <li>・地元の大学等に地域活動支援センターの行事等に、ボランティアの協力を求めた。</li> </ul>

(3) 障害に対する理解の促進を図るための普及啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学教授を講師に迎え、手話通訳も依頼して、中学生や民生委員等を対象に「地域・共生社会とは」を演題にして教育と福祉の講演会を行い、障害に対する理解の促進と普及を図った。</li> <li>・広報誌やホームページを活用して相談窓口の普及を図った。</li> <li>・障害者週間にポスター掲示や障害者の作品展示を行い、障害福祉への理解、啓発普及を行った。</li> <li>・交流を図るとともに、普及啓発を目的に積極的にボランティア及び実習生を受け入れた。(延べ実習生34名 活動ボランティア10名)</li> </ul>
(4) 地域活動支援センター間の調整	・市内4か所の地域活動支援センター間の連絡調整と、毎月第2木曜日に開催されるセンター連絡会の運営を行った。(年12回)

職員配置について

区 分	氏 名	資 格
管理者	岸谷 茂	
センター長・相談支援員	滋野 雅治	
相談支援専門員	田尻 里子	社会福祉士、介護福祉士
相談支援専門員	石本美智代	社会福祉士
相談支援専門員	北野 武晴	社会福祉士、精神保健福祉士
生活支援員	西野 悦子	
生活支援員	勝山 陽子	

## 2 相談支援の実績

### (1) 運営体制について

#### 相談窓口

窓 口	場 所
受付窓口 8:30～17:15 電 話 24時間(17:15～翌8:30は留守番電話対応) ファックス 24時間 メール 24時間	

### (2) 相談件数について(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

#### ①相談方法別件数(延べ件数)

訪問	来所	同行	電話
421	18	2	122

電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
0	175	3	3	744

②相談内容別件数(延べ件数) (相談内容を重複計上)

福祉サービス	障害理解	医療機関同行	服薬・健康管理	不安解消	幼稚・保育園紹介
597	50	1	2	3	0

教育・進路	家族・人間関係	年金・生活保護	金銭管理	家事	育児
0	13	14	5	0	0

就労	サークル活動	外出・移動	虐待	成年後見	その他	合計
8	0	1	0	7	43	744

③相談受付件数(延べ人数)

身体	重心	知的	精神	発達	高次脳
129	0	504	6	9	0

その他(重複無)	身体+知的	身体+精神	知的+精神	身体+知的+精神	その他(重複あり)	合計
3	50	0	26	0	17	744

3 創作的活動及び生産活動、社会との交流促進の参加実績(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
創作的活動	44	49	64	68	29	42	54	46	46	37	36	58	573
生産活動	11	6	0	0	2	3	4	1	3	6	3	7	46
社会との交流促進	42	52	64	57	41	53	52	55	41	39	50	47	593
合計	97	107	128	125	72	98	110	102	90	82	89	112	1212

4 課題

- ・保健・医療・教育・労働・司法等、関係機関との連携強化と調整について
- ・家族の高齢化に伴う支援や家庭の力の弱い利用者への対応について
- ・利用者の高齢化に伴う介護と障害の連携体制について
- ・民生児童委員や障害者相談員、地域住民ボランティアとの連携強化について

## 平成29年度射水市障がい者地域活動支援センター実績報告

委託先	特定非営利活動法人ふらっと	類型	地域活動支援センター（基礎的事業）
標準利用人員	10人/日	委託金額	6,000千円

### 1 事業総括

平成29年度目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制度やサービスの知識を深め、相談者の話に対して傾聴に努めると共に想いを汲み取れる、引き出せるような問いかけ、接し方を心掛け、当事者の意見を聞いたり各種研修に励む等相談員のスキルアップを計っていききたい。</li> <li>・ 行事や出合いを大切に地域、学校との関わりや交流を大事にしながボランティアの方々に来やすく、利用者の方々もボランティアの方々も一緒に楽しく活動できる場としての機能を高めたい。</li> <li>・ 障がい児者や家族の方々が気軽に立ち寄れる場であると同時に当事業所を活用することによってきっかけが生まれ当事業所以外でも気兼ねなく積極的に外部に出て行き、そこで多くの発見や楽しみを見出せるような支援に努めたい。</li> </ul>	
事業内容	成果
基礎的事業 (1) 相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度の相談件数は943件であった。</li> <li>・ 障がい児者の母親に対して昼食会を開催し、悩みや愚痴、問題を話し合う事で共有し共感し、日頃のストレスを発散してもらい今後の日常生活の活力を湧かせるよう場所を提供した。</li> <li>・ 介護技術と知識の向上を図るため外部講師として青山幸広さんと身体障がいを持つ当事者の方に来ていただいた。介護技術を学ぶと共に本人、家族の介護する上での困り感を得る良い切っ掛けとなった。</li> <li>・ 発達障がいを持ち周囲の人と関わりを持つことが難しい男性に対して就労移行支援を利用することによって就職に繋がるよう支援した。</li> <li>・ 就職を目指す筋ジストロフィー（日に日に体力が衰えていく症状）の成年が就職を見通した上でスキルアップを計る為就労移行支援を利用した。しかし体調不良が重なりサービスの見直しが必要になった。病院に同行し医師の話を聞いたうえで本人の意思の元、生活介護のサービスを利用することとした。</li> <li>・ 新学期に入り転校を考えている重心の児童に対し、保護者と共にサービス事業所を探し、利用に繋げた。</li> <li>・ 身体的な障がいを持ち、手術、入退院をくり返している乳児の母親に対し、抱えている悩みや気持ちを傾聴し、キャンナス（訪問ボランティアナースの会）等のサービスの提示をすることで母親のレスパイトケアに努めた。また、医療との連携を計る目的で病院のカンファレンスに参加した。</li> <li>・ 高校卒業を迎える知的障がいをもつ男性の卒後の生活について家族の方々から話を聞いたうえで就労継続支援B型のサービスへと繋げた。</li> <li>・ 射水市民生委員・児童委員、障がい者相談員合同研修会などの地域の方々と交えた研修会に参加し、共通理解し、障がいに対する理解を深めた。</li> </ul>

<p>(2) 創作的活動及び生産活動の機会の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招き、バレンタインのトリュフ作りやクリスマスのツリー作りなど行事にちなんだ作品を製作した。またネイルアートやメイクセラピー等体験できるアートにも取り組んだ。</li> <li>・みこし祭りに向けオリジナルのみこしや装飾品を利用者の方やボランティアの方を交えつつ製作し、皆さんで祭りに参加した。</li> <li>・生産活動はパウンドケーキやマグネット、ポストカード、シール、パッチワークによるカバンなどを作成し、共生フォーラムや、市役所の展示などにもお披露目した。</li> <li>・農作業は児童や保護者を交えながら大勢で芋掘りをしたり、地域の高齢ボランティアの方と種付けから収穫までの作業を行ない収穫物でカレーパーティーをみんなで楽しんだ。</li> </ul>
<p>(3) 社会との交流促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かちや熱の開催に事務局として参加した。健常者に混じり障がいを持った方も大騒ぎをしながら楽しんでた。</li> <li>・昨年に続きスポーツ交流会「第3回スポランふらっと杯」を開催し、カターレ富山の選手の方にお越しいただき、他の事業所の利用者・スタッフと運動を通じて交流した。</li> <li>・クリスマスチャリティー公演の観劇申し込みに当選し、劇団四季の公演を観に利用者の方々と参加してきた。</li> <li>・ボランティアは民生委員や学生、社会人など多くの方の協力をいただき、もちつき会やピアガーデンを催すことができた。</li> <li>・実習は短大の学生や介護事業所のスタッフ、地域の中学生による「14歳の挑戦」を受け入れた。</li> <li>・毎年公民館で行なわれている3世代ふれあい交流もちつき会に参加し、地域の方々、民生委員、園児たちとの交流を深めた。</li> <li>・福祉の事業所間での連携のみならずパナホーム、ヨシケイ等の一般企業の社員の方々もボランティアに参加された。</li> <li>・利用されている利用者の方の絵が評価され、個展が開催されたので他の利用者の方々と一緒に鑑賞させて頂いた。</li> </ul>

職員配置について		
区 分	氏 名	資 格
管理者	宮袋 季美	
センター長・相談支援専門員	宮袋 季美	
相談支援専門員	棚田 清志	社会福祉士、ケアマネ、教員
相談支援専門員	佐藤 格	社会福祉士、教員
支導員	足立 惇子	教員
支導員	増川 元英	

## 2 相談支援の実績

### (1) 運営体制について

#### 相談窓口

窓 口	場 所
受付窓口 8:30~17:15 電 話 24時間 (17:15~翌8:30は留守番電話対応) ファックス 24時間 メール 24時間	

(2) 相談件数について (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

①相談方法別件数(延べ件数)

訪問	来所	同行	電話
36	238	7	389

電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
6	11	112	144	943

②相談内容別件数(延べ件数) (相談内容を重複計上)

福祉サービス	障害理解	医療機関同行	服薬・健康管理	不安解消	幼稚・保育園紹介
657	69	6	141	122	0

教育・進路	家族・人間関係	年金・生活保護	金銭管理	家事	育児
32	23	2	4	6	3

就労	サークル活動	外出・移動	虐待	成年後見	その他	合計
8	1	2	7	3	74	1,160

③相談受付件数(延べ人数)

身体	重心	知的	精神	発達	高次脳
127	135	421	23	104	0

その他(重複無)	身体+知的	身体+精神	知的+精神	身体+知的+精神	その他(重複あり)	合計
46	25	47	0	0	15	943

3 創作的活動及び生産活動、社会との交流促進の参加実績(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
創作的活動	10	9	11	8	9	7	9	7	10	5	8	14	107
生産活動	5	6	6	7	6	6	4	4	5	4	4	5	62
社会との交流促進	9	12	10	9	71	9	10	10	40	7	10	12	209
合計	24	27	27	24	86	22	23	21	55	16	22	31	378

#### 4 課題

- ①医療的ケアが必要である障がい児者の地域で暮らしたいというニーズが増加している。本人の想いや家族の想いに対し成す術が乏しく相談員としての専門的な知識や経験、利用できるサービスの援助技術も豊かでないため、話しの食い違いや虚無感を感じる場面がしばしばあった。医療的ケアが必要である障がい児者の方、家族の方に対して活力を与え、将来の不安を緩和できるような支援技術を磨く必要がある。
- ②就労やサービス利用など本人の暮らしの主たる生活環境を変えていく困難さを感じた。本人の状態の変化は家族や本人の受容を待たずに進んでいき相談支援専門員として人間として悩みながら向き合わざるを得なかった。特に一般社会に本人が出て行くことについて現実と理想のギャップがありすぎた。まだまだ社会に向けてのアピール不足を感じた。
- ③福祉サービス等の利用の機会を持たなかった環境の変化に弱い方々に対してサービス移行前後のケアを本人の意向に沿いつつ行っていくためには相談員として本人及び家族に対してどのように寄り添っていくべきか。
- ④医療的ケアが必要な障がい未満児に対する福祉サービスが圧倒的に少ないため、母の願いに応えきれないケースがあった。制度上の問題においても射水市としてどう対応していくのか検討していくべきではないか。

## 平成29年度射水市障がい者地域活動支援センター実績報告

委託先	特定非営利活動法人ワークホーム悠々	類型	地域活動支援センター（基礎的事業のみ）
標準利用人員	10人/日	委託金額	6000千円

### 1 事業総括

平成29年度目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに応じた、また、自己の力が高められるようなプログラムの実施</li> <li>・ピア活動の環境作りの強化</li> <li>・その人らしい地域生活ができるような支援と地域連携</li> <li>・障害に対する理解促進を図るための活動を行う</li> </ul>

事業内容	成果
<b>基礎的事業</b> (1) 相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数は1,161件（前年度1,009件）と微増。</li> <li>・相談者内訳は精神障がい者が841件（72% 前年度もほぼ同率）と最も多く、相談も時間を要するものが多い。</li> <li>・知的障がい者は288件（20% 前年度もほぼ同率）</li> <li>・相談内容は不安の解消（42%）、福祉サービスの利用（31%）が多い。</li> <li>・サービス等利用計画作成の対象者は53名（前年度54名）となっており、延べ181件（前年度163件）の計画作成、モニタリングを実施した。独居の方への関わりが増加。また、法人の事業所以外のサービス利用者に対する計画立案が30件となっている。</li> </ul>
(2) 創作的活動及び生産活動の機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センターには45名が登録（うち新規4名）。開所日241日、年間延べ1,379名の利用あり（前年度1,192名）。</li> <li>・創作的活動として絵画、習字などを実施。得意分野を活かして、利用者自身が先生となる活動も行った。</li> <li>・サークル活動を実施し、自主的に企画し、活動をした。</li> <li>・利用者の希望も取り入れながら動的・静的なプログラムを作成。</li> <li>・外部講師を招いて水墨画や絵手紙教室、詐欺防止の勉強会などを行った。</li> <li>・ボランティアによる尺八演奏を定期的に行い、音楽を通して交流を図った。</li> <li>・火、木曜の午後はワークホーム悠々（就労継続支援B型）へ移動してステップアップを目指す方の作業時間帯と位置付けている。また、所内では空き缶つぶしによる工賃収入を得た。</li> </ul>
(3) 社会との交流促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、周辺地域の街頭清掃等（延べ84名参加）を実施した。</li> <li>・外出行事では公共交通機関や近隣施設の利用を図った。</li> <li>・民生委員やヘルスボランティア、家族会の方々と行事などを通じて交流を図った。</li> <li>・利用者家族の交流会を年3回開催し、情報交換や悩みの共有の場を提供した。</li> <li>・行事に町内会の方等をお誘いし、交流を図った。</li> </ul>

#### 職員配置について

区 分	氏 名	資 格
管理者・相談支援専門員	戸田みどり	精神保健福祉士
指導員・支援員	合歡垣 円	訪問介護員養成研修2級課程修了
指導員・支援員	品川祐美子	介護職員基礎研修課程修了
指導員・支援員	黒田 祐子	

## 2 相談支援の実績

### (1) 運営体制について

相談窓口

窓 口	場 所
地域活動支援センターつどい	同左
受付窓口	9:00～16:00
電 話	24時間（受付時間以外は留守番電話対応）
ファックス	24時間
メール	24時間

### (2) 相談件数について（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

#### ①相談方法別件数（延べ件数）

訪問	来所	同行	電話
200	120	23	600

電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
1	44	173		1,161

#### ②相談内容別件数（延べ件数）（相談内容を重複計上）

福祉サービス	障害理解	医療機関同行	服薬・健康管理	不安解消	幼稚・保育園紹介
361	105	3	19	489	

教育・進路	家族・人間関係	年金・生活保護	金銭管理	家事	育児
	36		15	7	

就労	サークル活動	外出・移動	虐待	成年後見	その他	合計
56					70	1,161

#### ③相談受付件数（延べ人数）

身体	重心	知的	精神	発達	高次脳
12		288	841	11	

その他(重複無)	身体+知的	身体+精神	知的+精神	身体+知的+精神	その他(重複あり)	合計
			9			1,161

### 3 創作的活動及び生産活動、社会との交流促進の参加実績（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
創作的活動	78	74	89	70	73	98	81	73	78	60	35	77	886
生産活動	10	10	16	3	5	6	6	12	14	7	13	14	116
社会との交流促進	36	42	38	28	24	27	34	33	19	33	38	25	377
合計	124	126	143	101	102	131	121	118	111	100	86	116	1,379

### 4 課題

- ・自主的な活動参加への支援
- ・家族交流会の継続
- ・関係者や地域との連携(独居の方、障がい者自身の高齢化、障がい者+高齢の親など)
- ・(計画相談の)相談員の不足

## 平成 29 年度射水市障がい者地域活動支援センター実績報告

委託先	特定非営利活動法人 むげん	類型	地域活動支援センター（基礎的事業のみ）
標準利用人員	15 人／日	委託金額	6 0 0 0 千円

### 1 事業総括

平成 29 年度
----------

地域活動支援センターは月に延べ平均 125 名の方に利用していただいた。平成 29 年度も創作活動や生産活動、社会交流促進等の活動を行ってきたが、納涼祭やクリスマス、健康づくり教室、種々研修会等で地域の方々との交流機会を更に広げ、地域の方々とともに活動を行ってきた。また、事業として、引き続きピアフレンドの勉強会や研修会等を行い、孤立防止として一人暮らしの方や家族力の低下した家庭等の相談にも数多く応じてきた。また、今年度から月 1 回ながらコミュニティカフェ「よってかれま」を開設し、利用者や家族の方、地域の方や関係者の方が気軽に集える交流の場、安心して過ごせる憩いの場を提供し、更に、地域の有志による習い事等の披露、外部講師を招いての研修会や講演会等を開催し、高齢の方や障がいを持たれる方をはじめ誰もが安心して過ごせる街づくりを一緒に考え、進めてきた。

相談支援事業では、月に延べ 90 件前後の相談を受けている。引き籠りや発達障がいの方に対する相談、様々な問題を抱える家庭に対する相談にも応じ、地域の相談窓口として種々多様な相談に対応してきた。計画相談も 100 件を超え、その中から見えてきた、所謂 80/50 の老障介護、単身障がい者の高齢化等の地域課題にも取り組み、単に計画相談に止まらない活動を行っている。

事業内容	成果
<b>基礎的事業</b> (1) 相談内容 福祉サービス利用 日中活動 家族間調整 経済問題 家族への対応 その他 (2) 創作的活動及び生産活動の機会の提供 (3) 社会との交流促進	<p>引き籠りや発達障がい、家庭や地域での処遇困難例等、多くの方から多種多様な相談を受けている。また、地域移行や地域定着、親亡き後の問題等「住み慣れた地域で当たり前暮らし」を実現するために、市や厚生センター等の行政機関、関係機関等と連携を図りながら活動を展開している。一つ一つの事例を大切にしながら、必要に応じて各種制度や事業、インフォーマルな支援等も活用し、個々のニーズに的確に応えるだけでなく、そこからみえてくる課題を地域課題として捉え、対応することを心掛けている。</p> <p>利用される方のニーズに沿って、切り絵や水彩画、書道や絵手紙等の創作活動、野菜や球根植え、花の鉢植え作り、軽作業等の生産的活動も行っている。</p> <p>納涼祭は今年も近隣自治会や営農等と共催、クリスマス会には自治会や長寿会、ボランティアや企業の方、種々関係者等を招待し、警察の方にも協力していただき、多くの方に参加していただいた。</p> <p>引き続き地元営農からの依頼で農作業の手伝いに行ったり、球根や鉢植え、農作物等を販売することで社会との交流も図っている。民生委員の方の見学や研修会、生涯学習会、依存症の会も含めた当事者会、家族懇談会等も開催し、啓発活動の推進も図っている。</p>

#### 職員配置について

区 分	氏 名	資 格
管理者		
センター長・相談支援員	二口 貢	精神保健福祉士・相談支援専門員
相談支援員	二口 裕子	"
相談支援員	門田 悦子	"
相談支援員	福島 千尋	"

2 相談支援の実績

(1) 運営体制について

相談窓口

窓 口	場 所
受付窓口 8:30～17:15 電話 24時間(17:15～翌8:30は留守番電話対応) ファックス 24時間 メール 24時間	

(2) 相談件数について(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

① 相談方法別件数(述べ件数)

訪問	来所	同行	電話
353	106	6	429

電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
0	10	8	16	928

② 相談内容別件数(述べ件数) (相談内容を重複計上)

福祉サービス	障害理解	医療機関同行	服薬・健康管理	不安解消	幼稚・保育園紹介
508	392	2	16	173	0

教育・進路	家族・人間関係	年金・生活保護	金銭管理	家事	育児
4	61	10	24	0	0

就労	サークル活動	外出・移動	虐待	成年後見	その他	合計
45	0	5	0	2	29	1271

③ 相談受付件数(延べ人数)

身体	重心	知的	精神	発達	高次脳
9	0	11	331	16	0

その他(重複無)	身体+知的	身体+精神	知的+精神	身体+知的+精神	その他(重複有)	合計
2	0	8	11	0	20	408

3 創作的活動及び生産活動、社会との交流促進の参加実績（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
創作的活動	18	17	27	40	23	25	22	34	39	32	37	17	331
生産活動	46	61	63	50	59	56	77	54	38	42	23	66	635
社会との交流促進	49	22	42	74	47	42	38	39	43	38	42	60	536
合計	113	100	132	164	129	123	137	127	120	112	102	143	1502

4 課題

今年度も書道や貼り絵、絵手紙等の創作活動、軽作業や鉢植え、野菜作り等の生産活動、納涼祭やクリスマス会等で社会との交流促進を進めるとともに、引き続きピアフレンド育成や孤立防止の事業に取り組み、研修会等の開催、相談支援等の活動を行ってきた。相談支援事業も、行政や民生委員の方、その他多方面から多種多様な相談を受け、真摯に対応してきた。加えて計画相談を担うなかからも共通した地域課題を見出し、単に計画相談に止まらない対応を行ってきた。また、新しい事業として、地域の方をはじめ誰もが気楽に集え交流できる憩いの場、コミュニティカフェ「よってかれま」を開設し、地域の方との交流機会を増やすとともに、関係機関や関係者との連携を更に密にし、理念である「誰もが住み慣れた地域で当たり前暮らし」街づくりを進めてきた。

今後としては、引き続き生産活動や創作活動、社会との交流活動、ピアフレンド研修や孤立防止事業、相談支援事業を更に充実させるとともに、コミュニティカフェ「よってかれま」の新たな展開を模索し、利用者の方や家族の方、地域の方等との交流を促進するとともに、近隣自治会や民生委員、行政や関係機関等と連携し誰もが安心・安全に暮らせる福祉の街づくりを展開していければと思う。

## 平成29年度 射水市相談支援事業実績報告（あいネットいみず）

委託先	射水福祉会 あいネットいみず	委託金額	6,000千円
-----	----------------	------	---------

### 1 障害者相談支援事業に関すること

事業内容	実績
<p>(1) 福祉サービスの利用援助に関すること</p> <p>(2) 社会資源を活用するための支援に関すること</p> <p>(3) 社会生活力を高めるための支援に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・射水市子育て支援センター(キッズポートいみず)で行われた射水市地区相談会に相談支援スタッフとして8回出席し、障害児の進路についての指導、助言を行った。</li> <li>・支援学校卒業生に対して移行支援会議などを通して福祉サービスの利用に向けて支援した。</li> <li>・富山県発達障害者支援センター「ほっぷ」と連携し、利用者の保護者とともに、障害の理解や利用者の生活面での課題解決に向けてのサービスについての面接や会議等を年間3回行った。</li> </ul>
<p>(4) ピアカウンセリングに関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理教室や工作教室などの創作活動の後に障害者同士が気軽に話し合う機会を提供した。自由に意見交換する中で、マナーやルールなどを学び合うことができた。</li> </ul>
<p>(5) 権利擁護のために必要な援助に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度に関して情報提供、連絡調整を行った。平成29年度は男性2件の申立支援を実施した。1件は10月より8回にわたり、社会福祉協議会と連携しながら利用者の従兄に申立の意義を説明し、申立の取組を支援した。もう1件は社会福祉課、社会福祉協議会、地域包括支援センターとともに市長申立への支援を行った。</li> <li>・支援力の弱い家庭の障害者に対し、障害基礎年金や現況届等の申請の支援・同行を行った。</li> </ul>
<p>(6) 専門機関の紹介に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談内容に応じて、病院、発達障害者支援センター、就業・生活支援センター、厚生センター等を紹介し、連絡調整をしながら対応した。</li> </ul>

### 2 相談支援機能強化事業に関すること

事業内容	実績
<p>(1) 専門的な知識を必要とする困難事例等への支援に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・射水市障がい者支援協議会相談支援部会（年12回）での困難事例の検討・協議の中で、一人暮らしの障がい者の地域での課題やヘルパーや見守り体制などの必要な社会資源についての提言を行った。</li> <li>・困難事例の検討を通して、保健・福祉・医療・教育等、関係機関との連携作りに努めた。</li> </ul>

<p>(2) 射水市障害者総合支援協議会の開催及び運営並びに構成員に対する専門的な指導、助言等に関すること</p>	<p>・射水市障がい者支援協議会において、各相談支援事業及び障がい者地域活動支援センターの活動の現状、課題等について検討を行った。</p>
	<p>・相談支援部会を毎月第4木曜日に（13：30～15：30）に定期的開催し、様々な事例の共有化を図るとともに、知的・身体・精神障害をはじめ、重複障害や発達障害の人たちへの支援や社会資源の活用についての検討を行った。</p>
	<p>・就労支援部会を年2回開催し、支援学校卒業生の進路状況や市内の就労系事業所の就労状況についての報告などを行った。          ・「ハローワーク高岡」より平成28年度の雇用状況や障害者雇用に関する最近の動向（障害者の就職件数は、前年と変わらず、高い水準を維持）等についての報告を受け、高岡障害者就業・生活支援センター、各事業所、関係機関間で、就労への取り組みや就労状況等の情報交換、共有がなされた。</p>
	<p>・サービス事業者部会を3月6日に開催した。部会研修では、部会に期待したいこと、力を入れていることについてグループ討議や報告を行った。          （22名出席）</p>
	<p>・子ども部会を年2回開催した。開催に当たっては、市や事例提供者と4回の事前打ち合わせを行い、検討事例を通して、各機関の役割の共有化や役割分担を図った。          ・平成29年度より供用開始された射水市子育て総合支援センターの見学を行った。          ・相談支援事業所や各行政機関の抱える課題についての意見交換を行い、射水市こども福祉ガイド作成について検討し、作成に向けて取り組んだ。</p>
<p>(3) 市内の相談支援体制の整備状況、ニーズ等を勘案した事業実施計画の作成に関すること</p>	<p>・具体的な計画作りを進めるために、個別のケースを通して地域課題の整理、分析を行った。</p>

## 課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の自立支援に係る地域の課題の抽出と社会資源の開発</li> <li>・相談員の資質向上を図るための研修会</li> </ul>
--

## 平成29年度射水市障がい者総合支援協議会 専門部会報告

## 相談支援部会報告

月日	協議事項
H29.4	H29年度相談支援部会 事例提供のテーマや検討の進め方について
H29.5	相談支援から見える家族の課題について
H29.6	「地域での見守り」「地域での支援」とは具体的にどんなことか、支援するチームとしてどう役割分担していくことか
H29.7	母親が高齢になっても必要な支援を受けさせたくない精神疾患を持つ娘への支援や取りかかり
H29.8	・5～7月までの提供事例について、その後の取り組みの報告及び検討 ・地域での見守りについて取り組みの状況 射水市社会福祉協議会「ケアネット事業について」、地域包括支援センターでの取り組みについて
H29.9	小学生が学校を休んで入浴サービスを利用しなくてはならないケース
H29.10	家族支援に介入できない就業者のケースについて
H29.11	自分が親に叱られてきたために、子供に叱ることをしたくない親への助言はどうしたらよいか
H29.12	9～11月までの提供事例について、その後の取組の報告及び検討
H30.1	本人の気持ちを確認できない重症心身障害児のケース
H30.2	希望するサービスになかなか結び付かない方の支援について
H30.3	1～2月までの検討事例について、その取組の報告及び検討 今年度の総括、今後の課題

- ・毎月第 4 木曜日に開催。担当を決めて事例を提供し合い検討を行っている。検討から得られた指摘・助言をもとにケースへの取り組みを数か月後に報告し、提供された事例への振り返りも行っている。

- ・事例を通して、本人だけではなく家族にも支援を必要とする状況が増えてきていることが認識できた。また、障がい者が地域で生活していくうえで、「地域での支援」も必要である状況が理解できた。

- ・「地域での支援」の理解を深めるため、射水市社会福祉協議会と新湊西地域包括支援センターを招いて、ケアネット活動、地域の理解を深めるための活動についての勉強会を行った。この勉強会で、地域の社会資源と活動状況について学ぶことができた。一方で地域が抱えている障がい者支援への心理的なハードルが存在することも認識した。

#### 【課題】

- ・地域との連携、障がい・障がい者の理解を深めるための具体的な取り組み。
- ・障がい者への心理的なハードルを下げるための地域への働きかけは、どのように行うのが有効か？

## 平成29年度サービス事業者部会報告

【開催日】平成30年3月6日13:30～ 市役所401会議室

【議題】「サービス事業所としての現状・課題・夢を語りましょう！」

1グループ5～6名で3グループにわかれて討議し、グループごとに発表

	現状・課題	検討課題・夢
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者のニーズへの対応が難しい</li> <li>●利用者がスタッフを選ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スタッフの人材育成（スタッフが集まらない）</li> <li>●現場の人材の規制をもっと緩和</li> <li>●日曜日営業の事業所が増えてほしい（事業所間連携）</li> </ul>
Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者にどんな仕事を用意するか、</li> <li>●能力に差があるのに工賃が同じであること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職員の質の向上（研修会の開催など）</li> </ul>
Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人材不足、相談員不足で兼務の職員が多く一人ひとりに割ける時間が少ない</li> <li>●多様な利用者への対応が難しい</li> <li>●事業所同士の連携不足</li> <li>●地活センターの活動の充実（主にニーズのある土日曜日の開催が課題）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で障がい者が暮らしやすくなるよう、普及啓発活動として、事業所や障害に関する講演や出前講座を学校等で開催</li> <li>●学生や実習生をボランティアとして活動に参加してもらおう。</li> <li>●障害者サポーターの育成</li> <li>●障がい者と健常者がかかわり合う行事の開催</li> <li>●相談支援事業所や相談窓口をアルプラザやイータウンなど、人が集う場所で開催</li> </ul>

※放課後等デイの事業所もこの部会に参加させてほしい。

※年2回の活動を目標にする。

## 平成29年度 就労支援部会活動報告

平成29年度は、7月と2月に就労支援部会を開催

【第1回】7月19日（水）13：30～15：30 市役所401会議室

- 各関係機関の活動状況の発表
- 意見交換及び質疑応答（障がい者就労支援における動向など）

<出てきた課題>

- 障がい者と企業のミスマッチを減らすようにしていく  
ジョブコーチやチャレンジトレーニングなど
- 通勤方法（公共交通機関など）

【第2回】2月21日（水）13：30～15：30 市役所401会議室

- 事前アンケートにて、平成29年度の一般就労実績及び定着の調査
- 一般就労した方のケースを元に事例検討  
就職した経緯、定着状況、辞められた場合の理由など。

<出てきた課題>

- 就職時だけでなく、就職後の定着支援が大切なのではないか

## 平成29年度 子ども部会報告

【第1回】平成29年9月13日(水)13:30～15:30 子ども子育て総合支援センター  
射水市旧大門庁舎にできた「子ども子育て総合支援センター(キッズポートいみず)」  
の見学

会議の中で放課後等デイサービス事業所が不足しており、来年小学校1年生になる子ども達が利用できるのか心配であるとの意見が出る。複数の相談員、デイサービス職員から同じ意見が出る。

【第2回】平成30年2月14日(水)13:30～15:30 市役所 401 会議室

重症心身障がい児について学ぶ

相談員から事例の中に今年の4月に小学校入学、地域の学校を希望しているが、学校の支援体制が整わず教育委員会との話し合いが継続されている事例があった。

### 【課題等】

市内の放課後等デイサービス事業所は、近年、地域の学校に通う子ども達の保護者からの利用希望が多い。定員がある為、希望する日数の利用ができない現状が多く見られる。

働くお母さんたちは、学童の利用や放課後近所で遊ばせることが不安な為、療育を提供する放課後デイサービスを利用する傾向が有り、利用者は増えるが受け皿が少ない現状がある。

従って、今後地域の学童保育や児童館での受け入れの検討、また、地域に暮らす障がい児とその家族を温かく見守る人づくり、街づくりについて検討したいと考えている。どうすれば働く保護者が安心して障がい児を育てる環境を作ることができるか課題である。

## 平成30年度 射水市障がい者地域活動支援センター事業計画

委託先	射水福祉会 あいネットいみず	類型	地域活動支援センターI型
標準利用人員	20人/日	委託金額	12,000千円
平成30年度目標			
(基礎的事業)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員の資質（面談技術の向上及び社会資源の活用・調整力）の向上</li> <li>・利用者ニーズに即した創作的活動、生産活動と地域支援プログラムメニューの工夫・充実</li> </ul>			
(I型事業)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体の活用の工夫と市民に対するボランティア参加の呼びかけの強化</li> <li>・民生児童委員、障害者相談員や各種関係機関との連携の強化のための取り組みの実践</li> </ul>			
事業内容		具体的内容	
基礎的事業			
(1) 相談支援	受付窓口	8:30～17:00	
	電話	24時間(17:00～翌8:30は留守番電話対応)	
	ファックス	24時間	
	メール	24時間	
(2) 創作的活動及び生産活動の機会の提供	①創作的活動の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理教室・・・水曜日・金曜日(毎週)、日曜日(月1回)</li> <li>・手芸、ペーパークラフト等・・・水曜日・金曜日(毎週)</li> <li>・書道教室、フラワーアレンジメント、絵手紙教室、壁飾り等</li> </ul>	
	②生産活動の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽作業</li> </ul>	
	③余暇支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラオケ、上映会、季節行事、軽運動(卓球、散歩等)</li> </ul>	
	④憩いの場の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者同士が気軽に来所し、話し合う場(憩いの場)の提供</li> </ul>	
(3) 社会との交流促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアを講師に招いたり、ボランティア団体や地域ボランティアに働きかけたりして、社会との交流促進を図る。</li> <li>・地域での行事や活動等に積極的に参加し、地域住民との交流を図るとともに、障害者への理解を深める。</li> </ul>		
I型事業(機能強化事業)			
(1) 医療、福祉及び地域の社会基盤との連携強化及び調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別のケア会議の開催を通して連携を強化する。</li> <li>・特別支援学校卒業生の移行支援会議を実施し、連携強化を図る。</li> <li>・民生児童委員、障害者相談員等を対象とした研修を開催する。</li> </ul>		
(2) 地域住民ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社協やボランティア団体と連携し、主催行事へのボランティア参加を呼びかけることで、障害者への理解とボランティアの育成を図る。</li> </ul>		
(3) 障害に対する理解の促進を図るための普及啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページでの情報公開、地域活動支援センターのパンフレット配布等、積極的な普及啓発活動を行う。</li> <li>・ボランティアを積極的に受け入れる。</li> </ul>		
(4) 地域活動支援センター間の調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センター連絡会議を運営する。 毎月第2木曜日 13:30～15:00</li> </ul>		
職員配置について			
区 分	氏 名	資 格	
管理者	岸谷 茂		
センター長・相談支援員	滋野 雅治		
相談支援専門員	田尻 里子	社会福祉士、介護福祉士	
相談支援専門員	石本美智代	社会福祉士	
相談支援専門員	北野 武晴	社会福祉士、精神保健福祉士	
生活支援員	西野 悦子		
生活支援員	勝山 陽子		

## 平成30年度 射水市障がい者地域活動支援センター事業計画

委託先	特定非営利活動法人ふらっと	類型	地域活動支援センター（基礎的事業のみ）
標準利用人員	10人/日	委託金額	6,000千円
平成30年度目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人及び家族に対して傾聴に努めると共に本人らしい生き方でサービスが利用できるよう利用者本位に寄り添った支援を目指す。</li> <li>・本人自身の障がいや特性を認め家族の考えも肯定的に捉え、本人家族が元気に生活できるような相談支援を目指す。</li> <li>・地域、学校との関わりや出会いを大切にしながらボランティアの方々が来やすく、利用者の方々もボランティアの方々も一緒に楽しく活動できる場としての機能を高めたい。</li> </ul>			
		具体的内容	
基礎的事業			
(1) 相談支援		受付窓口 8:30～17:15 電話 24時間（17:15～翌8:30は留守番電話対応） FAX 24時間 メール 24時間	
(2) 創作的活動及び生産活動の機会の提供		<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作的活動は外部講師による体験教室（ダンス、習字、アロマなど）を継続し実施する。</li> <li>・生産活動については農作業は地域のボランティアの方と農作物の栽培と収穫を行なう。自主製品の製作（パウンドケーキ、和紙作品など）を行なう。</li> </ul>	
(3) 社会との交流促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動支援を利用して外出ニーズを充足し、社会参加を促進する。</li> <li>・実習生や介護事業所の職員の実習の受け入れに努める。</li> <li>・地域行事に参加する。</li> <li>・カレッジ教室の講師の主催する行事への参加</li> <li>・自主制作した製品を地域の方々に触れるよう一般のギャラリーにも出展する。</li> </ul>	
職員配置について			
区 分	氏 名	資 格	
管理者・センター長・相談支援専門員	宮袋 季美		
相談支援専門員	棚田 清志	社会福祉士 ケアマネ、教員	
相談支援専門員	佐藤 格	社会福祉士、教員	
指導員	足立 惇子	教員	
指導員	増川 元英		

## 平成30年度 射水市障がい者地域活動支援センター事業計画

委託先	特定非営利活動法人ワークホーム悠々	類型	地域活動支援センター（基礎的事業のみ）
標準利用人員	10人/日	委託金額	6000千円
平成30年度目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに応じたプログラムの実施</li> <li>・ピア活動の環境作りの強化</li> <li>・関係機関、地域との連携</li> <li>・障害に対する理解促進を図るための活動を行う</li> </ul>			
事業内容		具体的内容	
<b>基礎的事業</b>			
(1) 相談支援		受付時間 9:00～16:00 電話 24時間（受付時間外は留守番電話対応） FAX 24時間 メール 24時間	
(2) 創作的活動及び生産活動の機会の提供		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いつ来ていつ帰ってもいい」という安心できる環境作り</li> <li>・ニーズに応じたプログラムや自主企画の実施</li> <li>・外部講師やボランティアによるプログラムの充実</li> <li>・週2日、ワークホーム悠々における軽作業の継続</li> <li>・ピア活動の支援</li> </ul>	
(3) 社会との交流促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出プログラムの実施、公共交通機関等の利用</li> <li>・資源回収と街頭清掃、草むしり等の実施</li> <li>・各種団体との合同レクリエーションや交流会の実施、参加</li> <li>・家族交流会の実施</li> <li>・地域家族会いみず野と協同し、精神障がいに関する普及啓発に努める</li> <li>・障がい者等の理解を深めるための働きかけの実施</li> </ul>	
区分			
管理者・相談支援専門員	戸田みどり	精神保健福祉士	
指導員・支援員	合歡垣 円	訪問介護員養成研修2級課程修了	
指導員・支援員	品川祐美子	介護職員基礎研修課程修了	
指導員・支援員	黒田祐子		

## 平成30年度射水市障がい者地域活動支援センター事業計画

委託先	特定非営利活動法人 むげん	類型	地域活動支援センター（基礎的事業のみ）
標準利用人員	15人/日	委託金額	6000千円
平成30年度目標			
<p>地域活動支援としては、利用される方のニーズに沿いながら創作的活動や生産活動の更なる充実を図り、また、様々な機会を捉えて社会交流を一層充実させたい。H29年度に開設したコミュニティカフェ「よってかれま」を憩いの場、交流の場として地域の方や関係者等との交流を更に深めるとともに、「街づくり」の新たな展開を模索していきたい。また、当事者活動を、当事業所だけでなく地域の他事業所や各種団体と連携し、推進していければと思う。</p> <p>相談支援については、従来通り、多種多様な相談に応じるとともに、引き続き計画相談も行っていきたい。個々の相談を大切に、適宜・適切に対応できるように更に研鑽を積み、地域福祉の相談窓口として、持てる専門性を発揮できればと思う。また、行政をはじめ関係諸機関と連携を図りながら、引き続き「誰もが住み慣れた街で当たり前前に暮らせる」街づくりを実践していきたい。</p>			
事業内容	具体的内容		
基礎的事業			
(1)相談支援	<p>今までどおり様々な相談に応じながら、個々の相談を大切に、必要があれば関係機関等とも連携し適宜・適切に対応していきたい。また、計画相談を通して捉えた地域課題に取り組んでいきたい。</p>		
(2)創作的活動及び生産活動の機会の提供	<p>利用者のニーズを的確に捉え、それに沿った創作活動や生産活動を行いたい。また、農福連携等、当事業所ならではのオリジナリティを模索し、実践していきたい。</p>		
(3)社会との交流促進	<p>納涼祭やクリスマス会等地域と連携して行う活動を更に充実させ、加えてコミュニティカフェ「よってかれま」等を通して地域との交流を更に深め、一緒に街づくりを展開していきたい。ピア活動や孤立防止事業についても、様々な機会を捉えて研修会や勉強会を開催し、更に、当事者活動や家族懇談会も推進していきたい。</p>		
職員配置について			
区 分	氏 名	資 格	
管理者			
センター長・相談支援員	二口 貢	精神保健福祉士・相談支援専門員	
相談支援員	二口 裕子	"	
相談支援員	門田 悦子	"	
相談支援員	福島 千尋	"	

## 平成30年度 射水市相談支援事業計画(あいネットいみず)

目 標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の自立支援に係る地域の課題の抽出と社会資源の開発</li> <li>・相談員の資質向上を図るための研修会の実施</li> </ul>

### 1 障害者相談支援事業に関すること

事業内容	実績
(1)福祉サービスの利用援助に関すること (2)社会資源を活用するための支援に関すること (3)社会生活力を高めるための支援に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・射水市地区相談会に相談支援スタッフとして出席し、障害児の進路についての指導、助言を行う。</li> <li>・富山県発達障害者支援センター「ほっぷ」と連携し、発達障害児・者に対する相談を行う。</li> </ul>
(4)ピアカウンセリングに関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会性を身に付けることを目的に、障害者同士が気軽に話し合う機会を提供する。</li> </ul>
(5)権利擁護のために必要な援助に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見に関する支援、日常生活自立に関する支援、障害基礎年金取得に関する支援、障害者手帳取得に関する支援等を行う。</li> <li>・当事者、その家族に対し、普及啓発を図るための研修会を開催する。</li> </ul>
(6)専門機関の紹介に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談内容に応じて、病院、発達障害者支援センター、高次脳機能障害支援センター、障害者職業センター、就業生活支援センター、保健センター等を紹介を行う。</li> </ul>

### 2 相談支援機能強化事業に関すること

事業内容	実績
(1)専門的な知識を必要とする困難事例等への支援に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第4木曜日(13:30~15:30)に開催する「射水市障がい者支援協議会相談支援部会」の企画・運営(進行、課題整理等)を行う。</li> <li>・具体的なケースについて、サービス調整や地域連携のための体制づくりやそのための課題検討を行う。また、そこから抽出した地域課題や社会資源の開発について「障がい者総合支援協議会」へ提言する。</li> </ul>
(2)射水市障害者総合支援協議会の開催及び運営並びに構成員に対する専門的な指導、助言等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「障がい者総合支援協議会」の開催と運営のための連絡調整を行うとともに、個々の具体的なケースから抽出した課題について検討し、助言する。</li> <li>・相談員に対し、障害理解やケアマネジメント技術の向上を図るための研修会を実施する。</li> </ul>
(3)市内の相談支援体制の整備状況、ニーズ等を勘案した事業実施計画の作成に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内4ヶ所の相談支援事業所の支援体制の強化を図り、専門機能に沿った支援ができるよう連携を図る。</li> </ul>

## 第4期射水市障害福祉計画進捗状況

## 1 障がい者福祉サービス

	平成28年度実績 (月平均利用状況)		平成29年度見込量 (1か月あたり)		平成29年度実績 (月平均利用状況)			平成30年度見込量 (1か月あたり) <第5期計画見込量>		
	利用者数(人)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用日数(日)	利用者数(人)	進捗率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	進捗率(%)	利用日数(日)
① 居宅介護等訪問系サービス	45.5	485.4	57	806	50.7	88.9	578.3	58	71.7	738
② 生活介護	262.2	5,001.7	280	5,626	266.3	95.1	5,121.3	272	91.0	5,440
③ 療養介護	24.9	—	24	—	25.0	104.2	—	25	—	—
④ 自立訓練(機能訓練)	0.0	0.0	1	18	0.0	0.0	0.0	1	0.0	18
⑤ 自立訓練(生活訓練)	2.0	21.3	10	120	4.6	46.0	50.8	5	42.3	75
⑥ 就労移行支援	18.7	278.5	32	640	17.8	55.6	284.0	21	44.4	420
⑦ 就労継続支援A型	70.7	1,308.3	53	1,060	76.7	144.7	1,450.8	80	136.9	1,600
⑧ 就労継続支援B型	114.5	1,894.4	99	1,782	111.3	112.4	1,833.9	110	102.9	1,870
⑨ 短期入所	37.6	187.8	56	280	43.3	77.3	218.8	40	78.1	200
⑩ 共同生活援助(GH)	46.8	—	60	—	45.3	75.5	—	48	—	—
⑪ 施設入所支援	113.0	—	108	—	111.7	103.4	—	110	—	—
⑫ 相談支援	108.5	—	96	—	104.1	108.4	—	100	—	—

※平成28年度実績は、H28.3～H29.2利用者の平均値、平成29年度実績は、H29.3～H30.2利用者の平均値

障がい福祉サービスとは

①	居宅介護等訪問系サービス	自宅でヘルパーによる入浴、排せつ、食事の介護や料理等家事援助を行う。
②	生活介護	常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する。
③	療養介護	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行う。
④	自立訓練（機能訓練）	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行う。
⑤	自立訓練（生活訓練）	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行う。
⑥	就労移行支援	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。
⑦	就労継続支援A型	一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。 雇用型
⑧	就労継続支援B型	一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。 非雇用型
⑨	短期入所	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。
⑩	共同生活援助（GH）	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行う。また、入浴、排せつ、食事の介護等の必要性が認定されている方にはサービスも提供する。さらに、入居者間の交流を保ちながら一人で暮らしたいというニーズに応えるためにサテライト型住居がある。
⑪	施設入所支援	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。
⑫	相談支援	サービス等利用計画案を作成し、支給決定後に、サービス事業者等との連絡調整等を行うとともに、サービス等利用計画の作成を行う。

2 地域生活支援事業

	平成28年度実績		H29年度見込量		平成29年度実績			H30年度見込量 <第5期計画見込量>	
	件数	人数	件数	人数	件数	進捗率(%)	人数	件数	人数
① 相談支援事業所	1事業所		1事業所		1事業所	100.0		1事業所	
② 意思疎通支援(口話ボード支援)事業	1事業所	70件	1事業所	73件	1事業所	100.0	96件	1事業所	73件
③ 日常生活用具給付事業	2,225人		2,149人		2,264人	105.4		2,149人	
④ 移動支援事業	749時間	21人	1,100時間	15人	604時間	54.9	23人	15人	1,100h
⑤ 地域活動支援センター事業	4事業所		4事業所		4事業所	100.0		4事業所	
⑥ 成年後見制度申立	0件		3件		1件	33.3		1件	
⑦ 成年後見制度報酬支払	0件		3件		0件	0.0		1件	
⑧ 市民後見人養成研修	8人		10人		14人	140.0		10人	
⑨ 日中一時支援事業	13事業所	102人	24事業所	94人	12事業所	50.0	96人	20事業所	100人
⑩ 訪問入浴サービス事業	1事業所	2人	2事業所	2人	1事業所	50.0	3人	2事業所	2人
⑪ 生活訓練事業	2事業	83人	2事業	93人	2事業	100.0	87人	2事業	97人
⑫ 本人活動支援事業	2事業	90人	2事業	90人	2事業	100.0	99人	2事業	85人
⑬ ボランティア活動支援事業	1事業	37人	1事業	35人	1事業	100.0	34人	1事業	37人
⑭ スポーツ・レクリエーション教室開催	1事業	68人	1事業	72人	1事業	100.0	65人	1事業	68人
⑮ 点字・声の広報等発行事業	3事業	52人	3事業	50人	3事業	100.0	58人	3事業	52人
⑯ 手話奉仕員養成研修	2講座	26人	2講座	29人	2講座	100.0	29人	2講座	29人
⑰ 朗読奉仕員養成研修	1講座	39人	1講座	40人	1講座	100.0	37人	1講座	40人
⑱ 点訳奉仕員養成研修	1講座	14人	1講座	5人	1講座	100.0	6人	1講座	10人
⑲ 自動車運転免許取得・改造助成事業	—	2人	—	6人	—	—	2人	—	4人